

平成 27 年度 湖南省立図書館第 2 回図書館協議会 会議記録

- 開催日時 平成 27 年 10 月 25 日(日)午前 10 時 5 分~(正午)12 時 25 分
- 開催場所 湖南省立甲西図書館 2 階 集会室
- 出席者 図書館協議会委員 10 人 欠席者 なし
教育部長、事務局図書館長他 2 人
- 傍聴人 9 人
- 議事 1.図書館評価について
2.年齢別利用統計について
3.「図書館のあり方に関するアンケート」について
4.その他

[開会]

館長	定刻の時間を回りましたが、平成 27 年度第 2 回湖南省立図書館の図書館協議会を開催させていただきます。会議の進行は規則により会長が議事進行することとなりますので、吉村会長様よろしくお祈いします。
会長	本日は委員様お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。 本日は、図書館の評価、そして前回分かる範囲でお願いしていた年齢別利用統計について、3 番は市が実施した図書館のあり方に関するアンケートに関して、4 番のその他としては私のほうから図書館評価に関するスケジュール等を総論的に決めて、次回会議の日程等を決めていきたいと考えていますのでよろしくお祈いします。 それと本日の資料確認を事務局からお祈いします。 【事務局による資料確認】

<p>部長</p>	<p>本日はお忙しいところ第2回図書館協議会にお集まりいただきありがとうございます。 また、多数の方に傍聴に来ていただきありがとうございます。</p> <p>昨日は劇団こなんヒストリアのお芝居がございまして、私も大変楽しませていただきました。昔は石部に常盤館があったと伺っていますが、昔はあのような感じではなかったかと思っています。</p> <p>芝居のことはさておきまして、その前説を猪飼委員から時代背景や歴史をご説明いただきまして、それによって芝居が大変わかりやすくなりました。そのなかに八石協会の話がありまして、私自身寺子屋のようなものと認識していたが、説明を聞きますと、大変な歴史がございまして、内容は省きますが大変勉強になった次第です。</p> <p>さて、市では昨年と今年にかけて市の総合計画を策定していきまして、その中の大きなテーマ一つに人口ビジョンがございまして。少子高齢化と人口減少は以前から言われていますが、本市でも平成17年(2005年)が人口のピークになっており、ここ10年間人口が徐々に減ってきています。これに関しては皆さんご存知かと思いますが、2014年5月に地方創生会議が発表した消滅可能性都市が、896のリストが発表されかなりの話題と、衝撃が走ったということがございました。それについては、元総務大臣の増田寛也さんが地方消滅について、本に詳しく書かれていますので読まれた方もあるかと思いますが、このことは、日本全体、勿論地方行政についても、財政の運営に非常に大きなテーマとなっていることは間違いないと思われまます。世界でも経験をしたことのない社会の変化がやってくることで、地方も大きな波にさらされることが予想される場所です。</p> <p>図書館運営ということで協議をいただいておりますけれども、市政全般にわたりましてそれぞれの皆さんも、市民の立場から知恵と協力をお願いいたたく、これなくしては、乗り越えていけない課題ですので今後ともよろしくお願ひします。</p>
-----------	--

■議事

<p>会長</p>	<p>では、1番目の議事「図書館評価について」の説明をお願いします。資料No.⑥とNo.①</p>
<p>事務局</p>	<p>[議事1 図書館評価について説明する。] 資料No.⑥ 平成26年度湖南市立図書館サービス状況点検・評価 資料No.① 平成27年度湖南市立図書館サービス状況点検・評価</p>
<p>会長</p>	<p>この問題は、前年度からの引き継ぎ事項で、もう一度レビューしていきたいと思ひます。前年度の時に、開かれた図書館としては、まず、しっかりと図書館の職員が自分たちの仕事の計画を立て、一年後にどのようにどういう活動をしたか、目標がどうだったかを昨年度の段階で決めました。そして、平成26年度については全員が内容について確認をしました。平成27年度からは外部に公表することに、図書館による内部評価以外に、外部評価として、図書館協議会からコメントを付けたものを公表します。これは文部科学省からの通達(法第7条の2に基づく「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」(平成24年12月19日施行))で、広く市民に評価していただこうとガイドラインが出ておりまして、昨年の図書館協議会では、平成26</p>

	<p>年度は初めての年で試行して、平成 27 年度の結果からは、例えばホームページ等で公表することになっておりました。平成 26 年度の資料の⑥は図書館の自己評価を出しています。例えば 2 ページの右左側に内部評価の全体評価 A の課題に対して図書館協議会で外部評価をやりましょうということ、および前回平成 27 年度でどのようなことをやろうとしているのか報告していただきたいということで、今回資料①平成 27 年度分が出た次第です。</p> <p>つきましては、第 3 回には図書館協議会が平成 26 年度の外部評価を行ったものを出そうとしています、時間的な制約もあり、どのように評価するかですが、10 人全員が集まるよりワーキンググループを立ち上げて、平成 26 年度の外部評価のコメントを検討し、たたき台を作って全体が集まった時に他の委員さんに説明をして、さらに必要でしたら付議事項を付けたうえで、正式の図書館協議会としての外部評価のコメントとして進めようと思いますが、いかがですか。それでワーキンググループですが、回数等はメンバーが集まった時に決めますが、参加される方は挙手をお願いします。</p>
委員	参加できる範囲でいいですか。
会長	<p>新人の方もできる範囲でいいので。では参加いただけるということでお願いします。</p> <p>では、第 3 回目か 4 回目になるかわかりませんが、再び皆さんのご意見を付けたうえで、図書館協議会としての外部評価を出そうと思います。そして平成 27 年度に関しては、今年やってみて、その成果を踏まえて取り組み項目やサービス内容を変更した方が良いとなれば提案させてもらったうえで、ホームページあるいは、文書で公表というかたちにしたいと思いますので、そのように進めさせていただきます。</p>
委員	今、ワーキンググループの参加を急に言われてもすぐに返事ができない場合は。
会長	<p>後日でも可能とし、事務局を通じて連絡をしてください。多くの方から意見を求めたいので、毎回参加でなくても可とします。</p> <p>では、次 2 番目の議事「年齢別利用統計について」に入ります。資料No.⑦</p>
事務局	[議事 2 「年齢別利用統計について」説明する。]
会長	質問ですが、これはコンピューターで集計した冊数ですよ。よく問題になりますが、実際の来館者数と貸出数の違いがありますが、平成 22 年に来館者にアンケートを行われたと記憶していますが。
事務局	<p>そのアンケートについては、資料③で平成 22 年 3 月に来館者全員に実施した資料です。</p> <p>その中の問 3 に「あなたの年齢は」で確認することができます。</p> <p>また、3 枚目に集計係数という表がありますが、次のページには、その来館者のうち 31 パーセントの方が本を借りたという数値となっています。</p>
会長	<p>来館された方のうち、冊数は分からないが、3 割の方に貸し出され、その他の方は調べ物や雑誌等を読まれていたという相関になる訳ですね。</p> <p>また、来館は、石部・甲西とも平日の金曜と土・日が極端に多い訳ではないようですね。</p>
事務局	特に石部は土・日が多いということはなく、また甲西も大きな差があるわけではないということです。
会長	第 1 回目の時に、来館者をカウントする方法は無いかと聞いていたが、館長がカウントしていただいたそうですね。

館長	<p>資料としてはありませんが、生活環境課からカウントする器具を借用し、目視による年齢別ですが、来館者を数えました。</p> <p>来館者数だけを申しますと、石部館は8月6日(木)が134人、8月10日(月)が、270人、9月17日(木)が100人で平均が168人の来館者がありましたが、貸し出したのは98人で貸出者比は1.71倍でした。</p> <p>甲西館は8月5日(水)が559人、8月8日(土)が573人、9月16日(水)が373人で平均が566人の来館者があり、貸し出したのは、303人で貸出者比は1.87倍でした。</p> <p>資料としては、時間毎と年齢毎の数値もあります。</p>
会長	<p>平成22年に比べて両館とも来館が増えていますね。</p> <p>また、平日と休日の差はあまりないようですね。</p>
事務局	<p>実感としては、平日の午前中にご年配の方が滞在されている利用が多いようです。逆に平日の午前中の方が忙しい時もあります。</p>
会長	<p>他にご意見はありませんか。</p>
部長	<p>私からは、15歳以下の減少率を見ると、平成17年から10年経って、児童生徒数が550名位減っています。減少の幅と利用者の率がほぼ比例しています。当然その層は在勤者はいないこと、また、現在65歳以上の人口が2万人を超えましたので、当然それに比例しているのかなと思います。</p> <p>なお、貸出冊数が、年々減少していますが、単に人口減少と分析をするのか、または運営も影響しているのか、皆さんはどうお考えか、ご意見を聞かせていただけたらと思います。</p>
会長	<p>難しいのは、コンピューターでは貸出冊数しかできない。個人的な意見ですが来館者すべてが借りているわけではない、来館者数を簡単に頻度良くあげて統計ができればよいが、単に貸出冊数が人口の割に減っているからと来館者が減っているとは言えない。特に平成22年と今回では明らかに来館者が生の数字として増えています。そのあたりは気を付けないといけない。コンピューターの貸出冊数だけ、人口一人当たりの貸出冊数だけに頼るのは私は危険だなと思います。</p>
部長	<p>私がお聞きしたいのは、私も貸出冊数がすべてだとは思っていませんので、一つの指標であって、冊数が減っているのは事実であって、例えば利用者にとって図書が充実していないのかなど皆さんか感じられるところがあれば意見を伺いたいなと思っています。</p>
会長	<p>皆さん、利用している自分の感覚的なもので結構ですので、ご発言をお願いします。特に、部長からは読みたい本があるのかと、いろんなファクターがあると思われませんが。</p>
部長	<p>例えば他の部所で、保育園の入園者数ですと、急激にお子さんの数が減っていますが、横ばいまたは増えています。それは働く女性が増えたという大きな要因があり、人口とは比例していないというものです。このように貸出冊数の減を人口減だけと捉えていいのかと、私たち教育部も説明を求められる立場でもありますので、感じておられることをお願いします。</p>
会長	<p>私ばかり言ってなんですが、私はまだ現役で土・日に石部を利用させてもらっていますが、新聞・雑誌を読む方が多い、それは貸出冊数には反映されず、来館者は増えているので新聞・雑誌を増やしてほしい。実際に生の声としては夕刊が遅いということは聞いたことがあります。</p>

委員	<p>⑦の資料で、平成26年度の年齢別人口と年齢別貸出冊数とを見ると0～6歳が非常に少ない。また、高校生が少ない、中学生も少ない、小学校も少ない。これは学校の図書室を利用しているのかなと思われます。ただ、23～30歳のかなり少ないのは何故かと思いました。</p> <p>ただし、31歳以上に関してはほぼ2倍以上の貸出冊数、61歳以上は3倍近い利用となっていますので、たくさんの方が利用されていると思います。小中高生は学校図書室を利用するからとして、新卒以上は何故かというところはあるが、それ以上の方はたくさんの方が借りておられ、61歳以上の方に関しては、図書の貸し出し以外に居場所とか、地域の居場所としての利用があり、良い図書館であると思いました。0～6歳の少ないのはお母さんの名前で借りているのでは、23～30歳は少ないが問題はなく忙しい年代なのかなと、これで十分であると思いました。</p>
委員	<p>この数値にはマツゾウくんが入ってないので、図書館の機能としてはこれ以上に児童のニーズに込えているということですね。</p>
委員	<p>貸出冊数だけなので一概には言えませんが、本に興味がある人が本を借りようとする読みたい本がここにはあり、いろんな幅の方のニーズに込えているのだと感じました。</p>
委員	<p>電子図書があり、平成18年度と比較をしてくださっているが、18年頃には考えられなかった時代になってきているということもあるのかなと思います。だから人口が少なくなってきているということもそれぞれの年齢層で貸出冊数が減ってきていることもあると思います。特に就労世代の方はコンテンツを自分で手に入れているということがあるのかなと思いました。</p>
会長	<p>資料⑦で61歳ひとくりですが、コンピューター上もう少し細分化してもらえないか。</p>
副館長	<p>依頼すれば技術的に可能ですが、予算が伴うと思われます。</p>
会長	<p>次の問題は、高齢化になった時に、車の運転ができなくなるので、70歳を区切りとした免許返納となった時に今すぐではないですがその年齢別の解析が必要となってくるのではないかな。近い将来そういった解析も必要な時代となっているのではというのが個人的な意見です。</p>
委員	<p>各家庭でネットを通じてできるだけ行かずに蔵書検索もできますし、図書館へ行かなくても本があれば予約もできますし、そういう数字も考慮しなければならないと思います。そういう数字をカウント出した場合に、中村部長が懸念していたように、単に人口減に準じて利用率がこうということに必ずしもならないかもしれないと思います。その辺りもこれからは考えて数字を出していかないと外部から納得していただけないと思います。</p>
会長	<p>例えばバスが頻繁に回数よく図書館の前に停まるようにする改善等行政との話し合いなど切り口としてはあると思います。</p>
委員	<p>委員の御父様が、借りられたのにもう借れなくなったと言われていました。車で来られていた方が、突然シャットアウトされると先ほどおっしゃったが、その推移をきっちり調べておかないと、費用を要しても調べておかないと今後の情勢で必要になります。それで要請があれば各まちづくりセンターに送付するとかのシステムを各まちづくりセンターに依頼しておき、それくらいなら取りに行けるという人もあるでしょう。マツゾウくんもあります。マツゾウくんは別の問題がありますので。そういうことも視野に入れながら、年齢を70歳以上なども採り入れ5年後の考察に活用していくべきではないかと思います。</p>

委員	それから懸念するのは、電子化の問題があります。電子化が進んでいるのだから図書館の職員も減らしてもいいのではないかと、今回、安直・安易に考える傾向に出ると困るので、図書館は電子化により人を減らしてもいいとは思わないと思うので、それはしっかりと伝えておかないといけないと思います。電子化による図書館の効用を今後しっかり数字にも出していかねばいけないと思います。
委員	20代30代というのは、誰でも本を読みなさいと強要されるわけじゃないですよ、特に最近の若い方は電子化もそうですが、今は新聞を取らないですよ、取る方少ないですね。スマホでもなんでも情報は入るし、だからそういう面で図書館の利用が少ないのかなど。それで60歳代以上ですが、私は今区長ですが、ある区では70歳以上が400人おられて敬老会を主催しても会場に入らないから75歳に引き上げようかということですよ。そもそも60歳以上というのは大まかなのですね、60歳以上で図書館へ来てゆったりできるのは一部だと思います。実際は、いわゆる会社とかパートなどで70歳代になるまでは働いている方が実際多いです。そこで、70歳で切るのか75歳で切るのかはわかりませんが、75歳以上になれば車の運転もそうですが、人によりますが。この間101歳の方運転していることをNHKが放送していましたが、大体75歳から80歳で免許返納していくのかなと思います。それ以上の方は、マツゾウくんとかを考えていくべきで、統計60歳70歳代というのはまだまだ若いと、ある区長さんは怒っている70歳までは老人じゃねえとか、70歳で切るのか79歳で切るのかそのあたりで統計を取ればどうですか。
委員	今朝の新聞では、20歳代で新聞を読むのは20%という数字が出ていましたが、児童の場合どうしても少なくなるのは都市部と違って、湖南市の場合、住宅が分散していますから自転車で安全に図書館へ来れる対象児童は非常に少ないと思います。そういうネックがある。そのために、マツゾウくんを補完しているわけですから、そういう意味でマツゾウくんの役割は非常に重要だと思っています。ですからマツゾウくんのデータですか、それをしっかり挙げておかないといけないと思います。
委員	ちょっとお聞きしていいですか、貸出冊数の中に他の図書館から取り寄せる場合はカウントされてないと聞きましたが、他の図書館から依頼があった場合はカウントされていますか。
副館長	それ(他の図書館に貸出した場合)も個人の利用者カードではないので入ってないです。
委員	それも入ってないのですか。私も良くリクエストして他の図書館から取り寄せてもらうことが多いのですが、図書館のコアな機能は、一般的に配布されてない資料を基本的に集めると、読みたいときにどこかで探せばあるというのが一番大事なところですよ。 それで、人数を数字を上げるにはどうすればいいか 対策はいろいろとれると思うがコアな部分をどういったところで湖南市の図書館をもっていくかについてある程度議論することが、というか試行することはできますか。専門的に特化する図書館とかはありうるのですか。
副館長	特化するといいますか、今、言われた利用者の資料の要求・リクエストといいますか 例えばこんな本を読みたいというご要望にお応えして、注文したり他の図書館から取り寄せたりというのはしています。
委員	それは来てからの対応ですよ。
副館長	そういう意味です。

委員	今、小さな書店で生き残りをかけるために特化ということが多く言われていますよね。要は専門化、大型の書店には絶対負けないと園芸に関してや、芸術の分野にしてはこれだという核を持っていると基本的には潰れないというのがあるのではないかと。図書館としてはそういったことに方向性としては行けるのか、あるいは公共の場だからそういうものはできないのか。
副館長	特化と言われているのは資料の中で、あるジャンルを特化して強くするということですか。
委員	他の図書館からの取り寄せの数字を加えることで、意義・存在価値もあると思いますが。
副館長	ただ、書店と違うのは、市民が利用できるのは基本地元の図書館となりますので、そこで資料を特化してしまうと、それ以外の資料を使われる方にとっては、自分の望む資料が逆に弱くなってしまわないか。また書店のように、例えば他市の収集資料を特化した図書館の蔵書を湖南市民が全部使えるのであればそれでも良いかと思いますが。基本的に地元の図書館をお使いいただくこととなりますので、ある程度何処の図書館も幅広いジャンルの資料を集めるのが基本となります。 ただ、それぞれの市には特徴といますか、例えば甲西図書館ですと、地元で工業団地があり技術者の方とか、要は理系の本を求められる方が他の地域よりかなり多いと実感していますので、そういったジャンルの本をかなり取り揃えていますし、あるいは高齢者に人気のある時代小説の文庫が非常に人気があり、ニーズも多いことから他の図書館より多く揃っていたりしますので、要はその土地ごとの利用者のニーズに応じた形では特化といますか、ニーズに応じた蔵書にはしていますが、特にジャンルを決めてではなくてお客様の要望に合わせて蔵書構成を作っていること、それぞれの自治体の地域の特徴がある程度出ているのかと思います。
委員	基本的にはできないということですね。
委員	意識して、この図書館はこれでいいということはないといますか、お客様のニーズに合わせてということになります。
委員	それについては、優秀な司書であれば、今、理系の話がありましたが、いくつか選んでこれをお願いしますとなりますが、しかし司書としてこういう関係のものでしたら、さらにこのようなものもありますよと、このようなものはどうでしょうかとの資料の情報提供は、県立図書館での蔵書もありますし、ネットワークができていますし、そういう意味では司書の役割は大事ですがきちとなされていると思います。 特別にこちらから特化ではないですが利用者がうまく利用すれば良い訳ですから、利用ができますよもっと司書を積極的に利用してくださいというアピールを広く堂々としてください。図書館は貸し出すだけではないんだという意識を持ってもらえるようにしてください。
委員	そのことについて、私は前から毎年言っていることで議事録に残っていると思いますが、こんなことができるよというのを開いたらどうか。言っているだけでいつもなし崩しですので、今回は真剣に考えてください。
副館長	今言われた他の図書館から取り寄せができることを宣伝したらどうかと色々な方から言われております。収集資料の特化をしなくても、図書館に入っていない本はリクエストをしていたら、注文するか他の図書館からお借りして、借りていただけることは、委員からおっしゃっていただいたように、アピールしていきたいと思います。

委員	そのアピールは数字には残りませんか。逆に煩雑な仕事が増えることに。現実的にいえば数字に表れないこととなります。
委員	今日、相互貸借の数字は出していませんが件数の統計は取っていますので、参考に出すことは可能です。
委員	相互貸借とレファレンス、レファレンスなどしてもらえることは知らない人が多い。
部長	これを見ての感想ですが、例えば甲西図書館の23歳から30歳の平成26年度を見ると19,003人、平成18年度比54.9%でかなり減っているように見えますが、よく見ると平成18年度の34,597人でこの世代は今では31歳から40歳までになっていますし、この年代の人は良く本を読んでいる人が増えているなど取れるので、年代によってかなり大きな差があることに気づきました。
会長	そうです、これは縦に見てはいけませんね。
部長	8年後には次のブロックへ行っています。
会長	解析すればするほど味深い資料ですね。
委員	利用者がどの年代になっても利用し続けていただいていることが、そういう数字が大事です。
会長	そういう方が運転できなくなった時が危機です。 ご指摘ありがとうございます。 それでは次のアンケートについてですが、資料No.②・③をお願いします。
事務局	【議事3 「アンケートについて」説明する。】
部長	補足説明をさせてもらいますと、今回の行政改革のアンケートについては、行革が主となって実施したもので、勿論教育部にも相談がありましたが、アンケートを実施すると決めてからあまり日数が無かったことと、質問項目が多いと回答してもらえにくいことからこうなりました。平成22年度は来館者のアンケートですので、行革の内容は恣意的だとの意見もありますが、図書館のアンケートと行革のアンケートとを対比してどちらがどうかではなく、行革は広く一般に執ったものなので補完的に見ていただければと思います。
会長	皆さんから質問をどうぞ。
委員	2点お願いします。個人的に、私これ、今回地域でアンケートが回ってきたときに、○をすると場所が無いと思いましたし、誘導されるようなアンケートだと思いました。折角一般住民に聞くのもう少し増やさないと○を付けられないと感じました。 それから、問の7ですが、時間延長が256人ですが、自習スペースの開設に235人があがっていますが、南草津と野洲の図書館とかは、時間延長されていたのが今は縮小になっており、その理由を図書館が押さえておかないと時間延長のための臨時を雇うことになりはしないか心配をしました。 次に、自習スペースの開設のことですが、これは先生にもフォローしてほしいですが中学校高校の受験生に対して自習スペースの考えは、例えば中学校も図書室がありますが、自習スペースを作るとなるとまだお金がいります、中学校では現在市からパートの司書がおられますがちょっとお金を出せばできるシステムになっていると思います。

	<p>また、高等学校には全部司書が配置されています。近くの甲西高校でも進路室と図書室の間に勉強できるスペースが設けられています。だから、中高に設置されていることを知っておられる方は○を付けてないのかと思いました。</p> <p>次に、このアンケートのことを図書館はあまり知らないようで、平成22年にアンケートをしたのならそれをベースに比較するなどの摺り合わせをしてもらえるとよかったのではないか。なぜ、行革が勝手にというか考えているだろうが、平成22年のアンケートを見て検討し、良くないところは直して、比較ができればなどと思います。図書館もおかしいと思われるようですが、レファレンスのところもそうですが、ただ、個人的にレファレンス力は落ちていきますので、まず、最初のサービスの取り組みにカウンター対応を重視し、読書案内・レファレンス対応などのスキルの向上と継承を図ると目標に書かれており、前回の発言が反映されており努力されたと思います。</p>
委員	<p>今回のアンケートが出てきたこと自体が唐突な感がありますし、違和感があります。それと先般の9月議会で私はインターネットで拝見しましたが、お二人の議員が質問され、アンケートについての的確な質問をされていましたし、私も同じような疑問を持ちました。</p> <p>今回、出てしまった以上先ほど部長も言われたように、今回のアンケートと図書館自らの来館者アンケートを突き合わせながら、今後の図書館の発展を考えなくてはいけないと思いますが、やはりここで大事なことは、行政改革推進室が分析したことを赤文字で示していますが、これ一つ一つについて、図書館が図書館の尊厳として矜持を持って、というのは専門的社会的教育的機関ですから黙ってはいけないと思います。</p> <p>やはり独立した機関として、図書館としては、この意見はこうではないかと、こう思いますなどと、何も反論ではなくて、ある意味自らの問いかけとして受け止めて、図書館としてはこうなのですかと、こうではないのですかと一つ一つ明確に専門的機関として文書で示していかなければいけないと思います。それを広く市民に見せていただくことによって、図書館というものはこういうものなのだ、自分がこう思っていたがそうではないのだなど明確に学習できると思います。図書館がしっかりとこうではないのだと文書で示す必要があると思いますが、どうでしょうか。</p>
委員	<p>今の委員と同様で、行革担当が書いておかれることに対して、図書館としての意見はあるのですか。このままこのとおりとされるのか、ちょっと待ってと言われるのかどうですか。</p>
館長	<p>そのことについては、事務局からの説明であったように、ここは誤解を招くという部分は取り立てて説明をさせてもらったとおりでありますが、全体として図書館としての検討は、内部で話し合いをしました。</p> <p>ただ、このアンケートの結果につきましては、市としてアンケートを実施し、公表したので、やはり図書館についても同じ市の施設の立場であるので、組織内で相反するような意見は表に出しにくいという、言葉としてでもですがそのあたりがなかなか表には出せませんが図書館内部としては、問題と課題について押さえているというところなので、議会の一般質問にもあったように、このアンケートは図書館と相談をしたのかという質問に対して、しましたとの答弁だったと思いますが、実際しております。</p> <p>ただし、アンケート案に対する館からの意見を出しましたが、意見が殆ど反映されなかった</p>

	のが現状で、結果意見が言えてないのが現状です。
委員	<p>図書館の場合は、教育委員会として独立した管理者のもとにある訳ですので、学校教育と同じであまりで組織の一部だからものは言えないというのは、私は、すこし館長としては立場がいろいろでしょうけれども、その辺のところもう少しある程度こういった困難に対峙する姿勢を示さないと、やはり初代館長はそのあたりは、はっきりと図書館の未来像やあり方に対してしっかりものを言っておられたと思います。</p> <p>また、議会でもしっかり答弁されていましたし、単にそのあたり組織内にとられてしまうと図書館としての独立性とか、かなり図書館に裁量権を与えられている訳ですので、私はもう少し考えていただきたいなという印象を受けます。</p>
会長	他の委員さんどうぞ。
委員	素朴な疑問いいですか。
会長	素朴な意見を出してください。市民の意見を汲む場ですから。
委員	自習スペースは不可能なのですか。郵送されてきてアンケートを見た時に、自習スペースが印象に残ったのですが、図書館の役割として居場所であったり地域の情報の発信地であったり高齢者の方が集う場所であったり、学生さんが夏休みなどに勉強するスペースに開放するところはどこの図書館でも自習スペースないですよ。
副館長	滋賀県内は少なくとも。
委員	<p>私たち高校生の時に、図書館に行って、それこそ夏休みに家にエアコンが無いので、また学校まで遠いので、図書館を利用させてもらい勉強していたことがありますし、野洲図書館も下に自動販売機があり、ちょっとしたカフェコーナーみたいになっていますし、夏休みに勉強している学生らもいました。ですから全然負担が無いのではないですか、負担があるのですか。専門的な施設の業務に支障があるのなら、そこは削ってまではどうかと思いますが。</p> <p>図書館のスペース開放で負担が無いのなら図書館の役割のひとつとして、自習室を開放するのはいかがですか。私は石部小学校で、夏休みに図書館ボランティアで夏休みの宿題が図書館でできる開放を5日間ほどしていました。子どもらもその時々で違いますが、やはり夏休みの宿題に来たりとか、夏は暑いし家にこもってゲームをしたりとか子供たちが夏休みをだらだら過ごす中、居場所があるというだけで勉強をしないまでも本を読んだりできる、宿題を試みたりちょっとした居場所づくりをしたことがありまして、これからの図書館の使い道などどうか、いろんなふうに広がる可能性があるのではないかと、負担とのバランスによって図らなければなりません。</p>
会長	<p>私からいいですか。先ほどから言われたように、図書館はまちづくりセンターではありません。</p> <p>私は、全国各地へ行きますが、例えば業務委託になっています奈良県の御所市、五條市は指定管理ではないですが図書館流通センター(TRC)が受けています。五條市から言いますと TRC にしたら開架の場所にそのスペースを置くと、先ほど負担が無い前提でと言われたが民間である TRC でさえ、公共図書館でない業務委託のところでさえ、従来からの利用者が利用するためのスペースが、一番致命的なもので開架スペースが減る分の本を書庫に入れなければなら</p>

	ず、自習スペースを置くとしたら何かを減らさなければならぬことになります。
委員	例えばこの部屋ではどうですか。
会長	<p>話を続けると、五條市は、2階に設けました。その結果受験生でない人のたまり場になってしましまして、1年経ち止めました。これは公共図書館でない業務委託のケースです。御所市の場合は、一部のフロアに、時期夏休み限定でやりましたが、利用者から騒がしいという苦情が来て、確か2年で止めたはずです。</p> <p>だから、何の前提として、あのアンケートは、どんなサービスがあったら、税金つぎ込んだら来ますかというのに対して、スペース減るとか金をかけなければなど必ず何かがあります。私は、たぶん滋賀県の図書館が何処もしてないのはあらかじめ予測しておられるのだと思いますし、仮に湖南市がそれを導入したら、隣どころかあちこちから大津の学生さんがあそこへ行ったら自習室で受験勉強できると、殺到したら困るでしょう。スペースの問題、金の問題、そして、他に無くてやればそこに殺到することもあります。その二つのケースは、公共図書館で業務委託ですが、業者さんが泣きついて止めた事例です。</p>
委員	難しいのですね。
委員	<p>自習室の件については、長い間論議になっています。基本的にはどこの図書館も、県外も殆ど置いてないと思います。日本図書館協会は、図書館としては机は図書館の資料を閲覧するように設けてあり、外から持ち込んで自習するというのは本来の図書館のあり方ではないという見解です。</p> <p>それはやはり今いろいろ言われたこともあるが、本質的機能ではないということと、館のサービスとしては減退し、差しさわりが出るのでということですね。私ら京都の学生時代は、年中行事や、歳時記のように夕刊に出ていたのですが、夏休みも終盤になると府立図書館に学生の席取りに行列ができる、それが初代館長もあれが図書館のイメージを壊して困ると言われていました。</p> <p>やはり一部の人の長時間の居場所や席取り、それは図書館の役割であるとは言えないのではないかと思います。</p>
会長	先ほど話があったように中学・高校もある訳ですし、例えばまちづくりセンターでも各校区にありますよね、まちづくりセンターは利用が結構ガラガラなんですよ。
委員	例えば、夏休み中に空いている会議室を自由に使ってくださいと。大津市はしていたように記憶しています。住民ニーズが多ければ試行してみるのも一つの手法かなと思います。学生ボランティアが夏休みの宿題をお手伝いしますなども。そのことについては、館長ならびに司書の方に聞かなければならないことですが。
委員	図書館側に応えていただきたいのですが、開館時間の延長ですが、南草津と野洲が実施されていたが、縮小されたそうだがその理由は何か。
副館長	<p>野洲図書館は、今年度4月から午後6時まで縮小されました。夜間開館をするために限られた予算で嘱託職員を多く採られて、開館時間を確保されていたのですが、野洲図書館のホームページにも考えが挙がっていますが、昼間に専門職員を集中配置することでサービスの質を上げるという方針で夜間開館を取りやめたと掲載されています。</p> <p>ほかに、開けていれば光熱水費が確実にかかりますし、主な理由は嘱託職員をやめて正規職</p>

	<p>員で昼間に司書で高いサービスを提供することに決められたそうです。</p> <p>南草津図書館は、それまで9時まで開館していたものを8時までの開館にしまして、言い方は悪いですが細く長くではなく、時間を短くして集中して職員を投入して良いサービスをすることにしたそうです。</p>
委員	<p>②の資料で見ますと、問4の図書館を利用する目的が、調べ物をするため本を借りるものでいえば、専門図書を借りる、書籍を利用して調べ物をする、専門的知識の助言の3つで659人となりますが、この中で雑誌・新聞を読むためCD等音楽資料を聴くための82人、講演・コンサートを聴くための12人で計94人です。</p> <p>つまり、659人対94人となりますが、資料③の平成22年を見ますと逆転してしまっていて、図書館で調べ物をするが15.4%で、図書館で豊かな時間を過ごすというのがこの中で、館内で本などを読む、館内でCDを聴く、余暇の時間を過ごすなどで67.6%であり、既に大きな食い違いがありますが、実感としてはどうでしょうか。</p> <p>一般の概念としては、図書館は調べ物をするところであるが、実際の図書館内で豊かに時間を過ごしたいのが増えているという認識でよろしいか。</p>
副館長	<p>どちらも増えているといますか。</p>
委員	<p>平成22年の資料なのですが、この中で、調べ物をするというのが質問で上がってないかとれませんが、少ないですね。この中では、本などを使って調べ物をする図書館員に調べ物の相談をするとの二つの項目しかないです。調べ物をするのが15.4%で図書館で時間を過ごすのが4倍近くになりますが認識としてはそれでいいのかということです。</p>
副館長	<p>実際に調べ物の相談をされる方以上に、館内でくつろがれている方は多いと思います。それと(家族の1人が答える②と違い)③のアンケートは館内に来られた方全員にさせていただいたものです。例えば家族で来られていても、(代表ではなく)1人1人皆さんにさせていただきました。</p>
委員	<p>要はマクロで見ればこの数字が出ている訳で、この数字を見て判断をしていますが、個々の事情はあるにしても、私は漠然と図書館へ調べ物のために利用しているとの認識だったのですが、今はそうではないのかなと思います、お聞きしたものです。</p>
委員	<p>それに関しては、昔は係の人に本を取ってもらっていたが、今は特に読む本は無いが、なんとなく本に囲まれるということは人間本来の安らぎを与える場ですので、そういう方もどうぞ来て下さいよと、その中でふとこのような本もあるのかとちょっと手を伸ばしてもらい、そういう図書館づくりも目指しておられます、そういう方向性で初代館長以来思想としてそういう図書館づくりをされてきました。</p>
部長	<p>一つは、③は回収数が約800人で、この回答は複数回答になっていますので、合計は1,711人であり、必ずしもこれがそのまま比例しているとは思いません。</p>
副館長	<p>調べ物だけではなく、くつろぎに来られる方は確かにたくさんおられますので、特に定年後に来られる方で、余暇時間をゆっくり過ごされる方は、実感としてはかなり多いと感じています。</p>

委員	<p>その方たちの資料の数字は残らないのですか。実績に残らない数値が多く占めていることになると、今までどおりのアンケートの取り方ではマイナスになっていく方向が強いので、マイナスにならないためにはどうすればいいかとの議論をすると、例えば売れる本を貸し出すとか、本来の図書館の役割でない部分に力を注ぐことになるし、今は利用者の認識が移行しているのなら図書館はそれに対してどうした取り組みをすればいいのかを考えなくてはいけないのではないかと。</p> <p>今までどうりでいいという考えもいいと思うのですが。資料の充実あるいはもっと快適に豊かな時間をゆっくり過ごしてもらおうなど、どこかで切割をしないと、じり貧になっていく可能性は高いと思います。</p>
会長	<p>最初に言いましたが、12時になったら退席していただいて結構です。</p> <p>では、続いて資料④の新聞・雑誌の記事、第1回目から本日までもので、部長から説明をお願いします。</p>
部長	<p>既に、いろいろなところで話題になっているかと思いますが、6月市議会最終日の議員全員協議会の場と、9月議会には3人の議員から質問がありましたので、主に行政改革の立場から回答をしていたということですが、湖南省は指定管理者を導入するのではないかと、中には甲西図書館が無くなるらしいという話をされる方もあったと聞いていますが、情報が間違っていたのかなと思っています。</p> <p>特に館長が今まちづくりセンターをまちづくり協議会に指定管理したので、図書館を指定管理するために館長を送り込ましたみたいと言う人もあって情報が錯綜しているところがあります。</p> <p>まず、6月議会末の全員協議会で市長自らが説明したのは資料④の1ページの現地継続や他の市有地と書いてるのはそのとおりです。借地の問題は約30年前に始まったことですので、非常に不安定な状況にあるのは現実ですし、駐車場などは別のところに探せば良いということになりますが、上に建物がある借地というのは仮に相手方から建設地の土地使用を活用し契約は30年で終わりとするのは現実無いです、言われたらどうなるかの不安定な状況にある訳ですが、そういうことも含めて議会には現在移転も併せて検討していると説明をしています。交渉事で相手があることなので詳しくは言えませんが、説明はこれ以上でもこれ以下でもないということになります。</p> <p>なお、議会でも地権者の意向を確認しているのかとの質問もありましたが、毎年借地料を払うときにお話もさせてもらっていますし、地権者は地権者の思いも持っておられますが、その内容は個人情報なのでここでは言えませんが、それらを総合的に判断して幾つかの検討を進めているところです。</p>
会長	<p>図書館協議会として気になるところで、それはいつごろ結論が出ますか。</p>
部長	<p>現在、平成28年度の予算編成が始まっています、また、地権者には契約満了の半年前に伝えなければならないので、年内中には何らかの方向を示さないと時間的にもダメだと思っています。</p>
会長	<p>9月議会での2館体制と直営の維持についてのスタンスはどうですか。新しい委員さんにも詳しく説明をお願いします。</p>

部長	9月議会で副市長は、2館体制を維持することと指定管理は導入しないとはっきり説明しました。市長もこれまでの発言で指定管理は一言も言ってないと思います。
会長	そうではなくて、行政改革大綱の中で2館体制も直営の維持についても視野に入れなさいとの外部評価委員からの提言があったけれども、現時点では市としてはどうなのかの説明が重要なのです。あの大綱は引っ込めてしまいますと。
部長	そのとおりです。私達は、30年が経過しましたが、2館体制とはいうものの石部も甲西もあと15年もすれば築45年になりその時にどうなるのかという不安があります。図書館の職員も同様だと思います。
委員	守山の市立図書館が建て替えをされます。昨年の県主催の交流会で、守山市がどのような図書館にするかの会議に図書館協議会の委員からも参加させてもらい意見を述べる機会があったことを聴きました。今後、部長もどこかへ行かれると思いますが、そういう機会には図書館協議会の委員からも吸い上げていただけるようなシステムを考えていただければと思いました。
部長	私も守山図書館の改築の話聞いたときに、一番に驚いたのは、築40年で増築と伺っていましたが。
委員	最初は増築リフォームだったのが建て替えに変わったようです。
部長	私どもの図書館も考えたらあと数年の話であり、もしも仮に図書館を建て替えようとしたら、計画をして市民の意見を聴いて設計をして工事となると最低5年は要すると考えられますので、守山市は確か昭和53年で37年経っており、そうするとうちの図書館も今から考えていても良いぐらいの時期となりますね。
委員	守山市は雨漏れがしてきたからと言っておられました。
部長	うちの建物も雨漏がしております。 今、行革全体のサイドからは、公共施設には凄く費用が要りますから少しでも改修して長寿命化をしようとしていますので、そうした中、守山市の年数を聞いて驚きました。
委員	確かに図書館関連の記事はこれだけですが、市議会にはある程度話されていると思いますが、できることなら早いうちに方向だけでもはっきりと決めたほうがいいのかと思っています。
会長	他の委員様、ご意見・感想はありますか。
委員	あまり図書館を利用していません。団体の代表で出席しておりますが、知らないことや初めて聞くことばかりで良い勉強になっているというのが実感でございます。
会長	では、12時を過ぎておりますが、事務局から残る資料の紹介をお願いします。
事務局	[事務局から資料④⑤⑧⑨までの紹介]
会長	一連のマスコミで武雄図書館の話はいろいろニュースになっていると思いますが、特に私が昨年、行政改革大綱の外部評価委員に市民代表として私と区長会の方2名で発言してきました。その時の外部評価の方が、図書館の職員さんに武雄に行ったことありますか、武雄は凄い、ツタヤさんが画期的なことをしているとの発言がありましたが、今の一連でどうなったのかご存知かと思いますが。

	<p>⑨番の資料ですが、個人的に大津の図書館協議会の方から入手したもので、10月4日の資料で比較的最近ですが、ツタヤが小牧市でいきなり新しい図書館を36億円で建てますという予算で始まった問題ですが、今、全国各地でツタヤに限りませんが図書館を図書館施設いわゆる文化施設ではなくて、人口が減っていくなか、まちの目玉になるものがほしいとのから武雄市で来館者が凄いことになったことから、小牧市でもされることになったのですが、結局住民投票で見直すことになりました。その後の新聞記事でツタヤとの契約を白紙に戻すかとの動きがあるようです。</p> <p>やはり、図書館協議会で話をするときは、図書館は何のための施設なのか、人寄せパンダでいいのか、5億円でも高いと思うが、36億円払ってでもまちづくりの核としたい市もあります。それから各地の図書館に行ったときに指定管理は図書館流通センター(TRC) という図書館サービスのプロ集団が圧倒的に多く占めていますが、そうでないところのサントリーが指定管理している有名なところもありますし、それ以外のNTT西日本、JR西日本がビルメンテナンスの業務を引き受けたついでに図書館の指定管理を受けておられるところもあります。先ほど2館体制と直営か否かの話は無くなったとの認識でいいと思いますが、今後ニュース等で図書館が直営から離れた時にどうしたことが起こるかの資料の参考として、私から小牧市の一連の資料を特別に補足して、発言をさせていただいています。</p> <p>皆様は本を借りるとき棚を見れば大体わかると思いますが、ツタヤは分類方法が全然違います。そして分類番号がありません。三島由紀夫の金閣寺は文学ですが、ツタヤは旅行京都に入っています。本屋さんなら良いですが、図書館でそれをやられたら探しても三島由紀夫の本がないことになります。</p> <p>本来、図書館はどういうところでどういうニーズで本を選ぶかの基本的な機能に、プラスアルファをつけてもらうサービスは良いと思いますが、その根幹にかかわるものは、絶対ぶれてはいけないものなのです。個人的な話をさせていただきましたが。</p>
委員	<p>関連した話ですが、図書館を評価する場合に開館時間とか貸出数のみで評価しがちなのですが、図書館はシステムですので、それが機能しているかなかなか数字には出ない、社会教育機関としてシステムが十分機能しているか、県立との連携が図られているか、質の高さとかを評価されなければなりません。</p> <p>また、アンケートを執るにしても日本図書館協会の方針など専門的領域の芯に基づいたものをプラスして、それぞれの図書館司書の意見を含めなければいけないものだと思います。</p> <p>それから、ツタヤに見学者が非常に多いことで思い出しましたが、利用者が増えていて、県外からの見学も非常に多いとのことで、甲西図書館でも当初は全国的に見学者が絶えなかった訳です。</p> <p>しかも、単なる見学者でなくこれからプロになろうとする図書館学を学ぶ学生であるとか、プロの各都市の館長が来るなど、新聞記事にもなりました。</p> <p>また、甲西町は全国的におそらく知る人は当時いない小さな町でしたが、図書館の専門家の中では非常に評価が高くて見学に押し寄せていましたし、そのことを私たちは忘れてはいけないと思います。当時図書館界の中でも一目置かれていましたし、甲西町は図書館を通じて知れ渡ったものです。</p>

	<p>その歴史は非常に志の高い、職員が頑張った成果であり、これからもその志を続けていただきたいものです。ある本によりますと図書館の年齢は10歳で1年であるを書いてあるのを読んだことがあります。これから職員に頑張ってもらいたいし、私たちも後押しをしていきたいと思えます。</p>
会長	<p>他の委員様いかがですか。</p>
委員	<p>アンケートの中で開館日を増やしてほしいとか書いていましたが、石部・甲西で休館日をずらしているなどとはありますが、スケールの違いとかいろいろ思いますが、公務員だから職員の勤務時間とからなどがあるのでしょうか、何とかローテーションするなどでもう1日甲西を開けられないのかなと素朴な疑問を持っています。</p> <p>今日は長引きますのでまた教えてください。</p>
会長	<p>一応、少し時間がオーバーしましたが、それでは、次回等のことについて事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>資料⑩の11月28日の図書館協議会交流会の案内です。</p> <p>また、例年ですと第3回目の会議をこの同じ日で設定していますが、今回は別の日で考えています。開催は11月後半から12月の間の土・日で、石部図書館を会場に予定していますので、後日改めて日程調整をさせていただきます。以上です。</p>
会長	<p>では、図書館協議会をこれで閉会させていただきます。ありがとうございました。</p>

[閉会](12時15分)